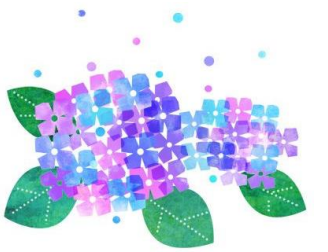


佐智だより

Vol.13
May.2021



『聴き方と伝え方』

私たちは家族や友人や恋人、近所の人や職場の同僚、仕事先の人やお客様など、様々な人たちの関わり合いの中で生きています。そこには必ずある程度の間隔が形成され、そのためには意思疎通（コミュニケーション）が必要で、しかし、単に意思を疎通するだけであれば同じ言語で話す限り相手に伝えることは簡単ですが、こちらの思いや希望をわかってほしい場合や、逆に相手の心の奥の気持ちや、逆に分かってあげたい時には少し努力が必要になります。マクドナルドの定員さんにチーズバーガーをくださいと伝えると、店員さんもチーズバーガーを準備して渡してくれます。しかし、宿題をやら

子供に「早く宿題をしなさいよ」と伝えてもその子は「承知しました」と言っただけで宿題にとりかかってくれません。そこには単なる意思疎通だけの問題ではなく、相手の気持ちを汲んだコミュニケーションが必要になってくるのです。1962年、アメリカの臨床心理学者トマス・ゴードン博士は、親のためのリーダーシップ訓練講座『親業』を提唱しました。本来は親と子のコミュニケーションのための技術ですが、リハビリや介護の場面においてもまた家族関係等においても幅広く活用できると思います。

高年齢者「明日からあのデイサービスには行きたくない」「娘A「何言ってるのよ、せっかくケアマネさんが探してくれてたので、今行き始めたばかりじゃないの、家にずっといると足腰が弱っておまけにボケてしまうのよ。」

「名前は何？」と聞くと、即、「〇〇〇」と早口でピシャリと。二〇一八年八月より週二回（月・木）お世話になっており、その間、おかげ様で胃ろうでの食事でも今や口からの摂取が出来るようになり、笑顔も多く見られるようになりました。又、遠方にも拘わらず、送迎もしていただき、大変助かっております。全てに感謝しかございません。有難うございます。

「お名前は？」と聞くと、即、「〇〇〇」と早口でピシャリと。二〇一八年八月より週二回（月・木）お世話になっており、その間、おかげ様で胃ろうでの食事でも今や口からの摂取が出来るようになり、笑顔も多く見られるようになりました。又、遠方にも拘わらず、送迎もしていただき、大変助かっております。全てに感謝しかございません。有難うございます。

『家族寄稿』

『お名前は？』

笑顔はオアシス

舟井 加志雄

の根底にある心理状態を代弁します。娘B「わたしはお父さんがデイサービスに行ってくれませんか、とっても嬉しいし、安心なのよ」（主語を「わたし」にした文章で相手に伝えます）（私メッセージ）

こちらの意向を受け入れてくれるようになると思います。しかし、理屈ではわかっているとしても、親しい身内になればなるほど実際に使うことは難しいですが、少しでも意識しながら実践を繰り返すことが大切です。

初夏の風が清々しい季節になりました。穏やかな陽気が心地よく屋外で過ごすには最適なのですが、今年は過去2番目に早い梅雨入りとなりました。新型コロナウイルスは留まる事を知らず、独自の緊急事態宣言も発令中です。4月下旬より感染力が強くなる年齢に比べて重症化しやすい変異株が発生、市中感染も拡大しています。その一方で2月よりコロナワクチン接種が順次行われています。これは感染を防ぐというよりも発症・重症化・蔓延防止効果を目的としたものです。今後もしも密を避け自粛を心掛け、自身の健康管理に気を配ることが重要です。

『これからの健康管理』

また、この時期気を付けたい感染症にRSウイルス感染症・ロタウイルス感染症・溶連菌感染症などがあります。飛沫感染・接触感染で移り感染力が非常に強いです。日々の手洗い・うがいを徹底して行っていきましよう。そして、梅雨から夏にかけて発生しやすい食中毒にも注意が必要です。主な原因である細菌は気候が暖かく湿度が多くなるが増殖が活発になります。とりわけ食肉に付着しやすい「腸管性出血性大腸炎」「カンピロバクター」卵にも付着する「サルモネラ」は腹痛・嘔気嘔吐・下痢を症状とし食中毒と気づかず重症化する場合があります。

食中毒の3原則
・「つけない」菌を付けないように手を洗う。調理器具を食料と一緒に洗う。
・「増やさない」食材は低温で保存する。
・「やっつける」菌は加熱で死滅するのできちんと調理して食べるようにしましょう。

お花見

『花見は、樹木に咲いている花、主にサクラの花を觀賞し、春の訪れを寿ぐ日本古来の風習である・・・』という今年も花見に行ってきました。今年には特に密にならないように気を付け、行く方々の体調チェックもしっかり行い、遠くは西都、綾の馬事公苑、天ヶ城へ、近くは垂水公園、天神山、文化公園へ出掛けました。天候も良く暖かい日の中で桜の花を見ながら、心も身体も癒されました。（介護福祉士 草留洋子）



おそらく佐智さんでもそうかと思いますが、なかなかじっとして居られない。車いすでの移動は狭い家の中を縦横無尽にうまく操り、器用な一端を見せてくれます。メインポジション

最後に、佐智さんスタッフの方々の健康を祈りながら。（令和三年五月二十四日）

（看護師 牧野八千代）

『お食い締め』という支援

ターミナルケア病棟勤務時、よく誤嚥性肺炎の患者様を担当させて頂いておりました。食べられる機能があるか、それに合った食事形態はなにか、どういった介助なら誤嚥しないかなどありとあらゆることを考えながら再度この患者様がごはんを食べられるようリハビリしてまいりました。しかし、どんなに頑張っても誤嚥性肺炎になり医師からは「口からの食事は難しい。食事を中止する」と患者様の食べたいという想いを無視する場面を見てずっと違和感を感じておりました。その時にこのお食い締めという考え方に出会いまいりました。お食い締め支援とは言語聴覚士である牧野日和先生が提唱された人生最後の食支援です。お食い締め支援とは逝く者と家族およびスタッフとの三位一体の取り組みであり、逝く者の状態によっては必ずしも食べることを必須としません。その場合、ともに語り、音楽を聴き、孫と一緒に食べるなど最後の意味ある時間を過ごすこともまたお食い締めと呼ばれています。お食い締めの支援を行う条件は、①看取り期であること②対象者の意思があること③食べる事が苦痛でないこと④家族の同意を得ていること⑤職場の同意を得

ることです。目標は、逝く者が自分の人生に対し自己有効感を得ることができ後を生きる者が、身内との別れに対して、「命のけじめ」、心の折り合いをつけることを目標としています。この考え方を聞いて食べるという行為はその人本人、家族、支援者の気持ちを満たすことであると考えさせられました。

(言語聴覚士 高橋奈々)
(参考書籍)『最後まで口から食べるために』(牧野日和)

失語症とQOL

QOLとは Quality of Life の略で、生活の質や人生の質と訳されます。物やお金に満たされた物質的な豊かさではなく、心身が満たされた生き方を指します。

失語症は日常生活を制限するだけでなく、人生の質や心の在り方にも大きな影響を与えます。QOLを測定するのは容易なことではありませんが、まずは本人が、何を大切にしたいか、幸せを感じるか、を知ることが必要です。「あの人と繋がりたい」「もっと仕事がしたいのに」

介護報酬改定が

ありました



介護報酬(加算)とは、介護保険サービスの価格になります。介護事業所の経営状況や高齢者を取り巻く環境、物価水準等を考慮して、改定が行われてきました。介護報酬改定には、3年ごとの改定と、特別な要因(消費増税)による改定があります。令和3年度の介護報酬改定では、新型コロナウイルスの影響を受けて『感染症や災害への対応力強化』が追加され『地域包括ケアシステム』の推進、『自立支援・重度化防止の取組の推進』『介護人材の確保・介護現場の革新』『制度の安定性・持続可能性の確保』この5つの柱をもとに、多くの加算で算定の要件が

変わりました。

そこで今回は、入浴加算Ⅰ・入浴加算Ⅱの違いをご紹介します。

入浴加算Ⅰとは、設備が整った環境で、介護職員が入浴介助を行うことで、算定されます。(40単位/日)

専門職員が自宅を訪問し、浴室における動作・環境の課題を確認させて頂きます。その後、入浴計画書というものを作成し、利用時に入浴介助を行います。(55単位/日)

今回ご紹介した入浴加算以外の加算でも、ご不明な点がございましたら、遠慮なくご相談下さい。(生活相談員 河原良尚)

集団で行うリハビリ

人の話くらぶ佐智では毎日、午前と午後それぞれ集団訓練を行っています。午前は主に運動をメインとした訓練、午後は言語聴覚士による言語訓練を実施しています。

これまで午前の集団訓練では機能訓練指導員(理学療法士等)の指導の下、介護職員が行っておりましたが、令和3年度の介護報酬改定に伴い、四月より理学療法士も集団訓練に直接介入することになりました。できるだけ小集団で、ケアプランの目標に沿って訓練内容を変えながら行っています。写真はある日の訓練の様子です。この日は立位での下肢筋力訓練やバランス訓練を行いました。他にも入浴動作訓練の一端でまたぎ動作訓練や模擬で洗身動作訓練なども行ったりします。

三時の茶話会



人の話くらぶ佐智では、三時の茶話会の時に、5種類のお飲み物を利用者さんに提供しています。(緑茶・麦茶・ミルクティー・レモンティー・コーヒー)

失語症の方が多く、言葉で伝える事が難しい方が多く利用されている為、メニュー表にちよっとした工夫をしています。それは、メニュー表の文字の横にイラストを書いて、ご自分の好きな飲み物を選んでもらっています。

飲み物には、ホット・アイスとあり、利用者さんにシエスチャーや絵を見て指差しで選



小グループ訓練の様子

「集団体操は一人でやるとなかなか長続きしない運動でも、あの人もやっているから」や「あの人も一緒にいたらやれる」といったこともあります。他者と関わりを持ちながら取り組むことができるのも集団での活動の魅力の一つだと思います。もちろん集団体操以外にも個別的なリハビリが必要な方にはより各個人の目標に沿ったリハビリを行っています。

日常生活での動作で何かお困りでしたらなんでも理学療法士へご相談ください!

(理学療法士 吉田圭佑)

んでもらっています。飲み物とおやつを提供後、各テーブルに職員が座り利用中の出来事や昔の話や自宅に帰ってから何をするかなど、色々な話を三時の茶話会を楽しんでいます。

茶話会後は帰られる方やリハビリのある方とさまざまですが、帰られる方は笑顔で帰られ、また明日も来るねーと言われ帰られます。

私達、職員もこの茶話会の時は利用者さんとたくさんお話して色んな事を振り返りながら楽しく過ごしています。

お飲み物

	アイス	ホット
ミルクティー		
レモンティー		
コーヒー		
緑茶		
麦茶		

各テーブルに置かれてるメニュー表

新入社員です!

よろしくお願ひします

小出水和也
言語聴覚士



高澤かおり
介護福祉士



中原梨沙
介護福祉士



佐智だより NO.13 (令和3年5月20日)

医療法人社団三友会

地域密着型通所介護 人の話くらぶ佐智

Tel:0985-89-2772 Fax:0985-89-2773

(所在地)〒880-0024 宮崎市祇園2丁目17番地1

ホームページ <https://www.sanyu-kai.or.jp/>